



高齢者にとってアニマルセラピーは大切だが…

Yさんとは20数年前、Yさんが 義母の介護をしていた頃、訪問看護で関り、一緒に看送った。

その後、夫に病気で先立たれ、今は一人暮らしの 生活になって8年になる。

Yさんは、昔から動物が好きで犬を飼ったり、野良猫を保護しては 動物病院で去勢手術をしたり病気の 猫を 100匹以上も 世話をしては、動物病院に連れて行き 自費で治療をしてあげたりして、これまでに使ったお金は数百万円にもなるという。現在も野良猫 3匹と一緒に暮らしている。

昨年 11月に 自宅で転倒し 救急搬送され入院となった。

大事には至らなかったが、もともと慢性関節リウマチ等があり、関節の拘縮変形もあり思うようには歩けなく、更に長期の入院により 体力、筋力ともに低下し、日常生活動作もままならなくなり、退院後は『ケアホーム希望』のサービスを利用することとなった。

入院中の猫の世話は近所の猫好きな人に自費でお願いし、今も世話をしてもらっている。

Yさんの 歩行状態も 安定したため、「泊まり」の サービス から「通い」の サービスとなったが、自宅に帰ると いろいろなことが気になり、必要以上に動いてしまい、再度 転倒してしまった。今回の転倒も 大事には至らなかったものの 腰痛や持病があり、安静臥床となった。

Yさんには 子どもがいない。頼りになるのは従弟だけだった。何かあれば後見人として面倒は見ってくれるが、実際の介護するまでの面倒はみれない。

今後のことを考えて、特養等の 施設入所を検討していたら、一緒に 暮らしている猫 3匹の 問題が浮上した。猫も長年一緒に住んでいるので高齢猫であり、人間の年齢でいうと80歳以上である。」こうした猫を保護するNPO等、ボランティア団体はあるが、すぐに受け入れてくれる施設はなかなか見つからない。我々もいくつか保護団体を調べ、問い合わせしてみたが 引き取り件数が多すぎて、飼い主が見つかるケースは 少ないという。ペットと一緒に入所できる施設や ペットだけを 引き取ってくれる施設はあるが、いずれも高額な費用がかかる。

動物を飼うということは、最期まで飼えるかを見極めてからではなければならない。

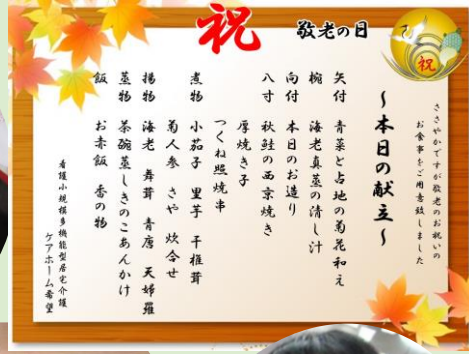
人間の都合で動物を振り回してはいけない。`可愛いから、`可哀そうだから、という想いだけで保護してしまえば いずれ飼い主が飼えない状況になった時に、困るのは…動物である。

生き物を飼うということは `命の尊さ、`を考えなければならない。

『今 飼えるから 飼う…』のではなく、将来の 最悪の状況までを 想定してほしい。



今年の**敬老会**は、新型コロナウイルスの影響もあり、**3密を避け、感染対策も徹底し**
食事会をメインとして2日間開催しました。



わあ〜！
豪華な食事



わあ〜！
美味しそうね〜



私たちはこれからも皆さんと
力を合わせて長生きすることを
ここに「宣言」します！



今年の記念品は「オリジナル巾着袋」



ケアホーム希望の 知っておきたい 『事故や急変に備えて家族は何をすべきか』



第6回

介護教室

在宅介護では不慮の事故や病気の急変等、様々なことが起きます。高齢で要介護状態にある方ならそのリスクは高くなります。実際に起きてしまった後のことまでを想定し、具体的な準備をしておきましょう。

『どうしようもない』・『しかたがない』で済ませない

起こりうるリスクと向き合い、家のどこでどんな事故が起こるのか考えてみましょう。

□ **緊急時の連絡先をリストにして貼っておく**
 事故や急変が起きると慌ててしまうものです。緊急性が高い場合は救急車を要請しなくてはなりません。状態によっては、かかりつけ医や訪問看護師の判断を仰いだほうが良い場合もあります。症状別の連絡先をわかりやすく記し、どこに連絡すれば良いのか、家族の誰もが適切に対処できるよう連絡先の一覧表を貼っておきましょう。

● **本人について**

生年月日や病歴等、本人情報をすぐに伝えられるようにしておきましょう。

緊急時の対応で迷ったら...

病院に行った方がよいか、救急車を呼ぶべきか等、対応に迷ったら「救急安心センター事業（#7119）」に電話してください。

□ **事故や急変が起きた時の緊急連絡手段を準備**
 在宅介護で事故や急変が起きたとき、避けたいのは見つてもらえないこと。自力で助けを呼ぶことができない状況も考えられます。外部と連絡を取る方法を用意しておくことも重要なことです。例えば...
 急変や転倒に備え、本人が長い時間過ごすベッドや移動時に必ず通る廊下等、異変が起きることが考えられる場所に電話や子機があると安心です。

緊急通報装置を利用する

最近では「緊急通報装置」を利用している方も多くいます。コンパクトなリモコンで肌身離さず持ち歩け安心です。

